印西市学校適正規模・適正配置基本方針における検討対象校の取り組み状況

(1) 大規模校

① 小学校

原小学校（令和6年5月1日現在の児童数1,191名、通常学級数35、特別支援学級数7）
・平成30年度に校舎の増築工事を実施し、6教室を増築（平成31年4月から供用開始）
・令和3年度に校舎の増築工事を実施し、10教室を増築（令和4年9月から供用開始）
・令和5年1月20日・21日に「原小学校区における施設教室数不足の対応に係る説明会」を実施 ※保護者309名出席
・令和5年5月「通学区域制度の弾力的な運用に関するアンケート」を実施
・令和5年7月「原小学校校舎増築に伴う対応の経過報告等の説明会」を実施 ※保護者78名出席
・令和5年9月「通学区域制度の弾力的運用に関する学校見学会」を実施 ※延べ147家庭参加
・令和5年度から校舎の増築工事を開始、20教室程度を増築予定（令和7年4月に供用開始予定）
・令和6年度から隣接する高花・いには野・本埜小学校と連携した通学区域制度の弾力的な運用を実施 ※制度利用者数（令和6年5月1日現在）：53名
・令和6年9月「通学区域制度の弾力的運用に関する学校見学会」を実施 ※延べ179家庭参加
・令和6年12月「原小学校過大規模校の対応に係る意見交換会」を実施 ※保護者及び地域住民113名出席

牧の原小学校（令和6年5月1日現在の児童数1,033名、通常学級数31、特別支援学級数5）
・令和3年度に校舎の増築工事を実施し、11教室を増築（令和4年4月から供用開始）
・令和4年4月1日から通学区域の一部（印西市牧の原二丁目、牧の原三丁目、牧の台二丁目及び牧の台三丁目の全部の区域並びに草深の一部の区域）を西の原中学校区に変更
・令和5年度に校舎の増築工事を実施し、16教室を増築（令和6年4月から供用開始）

小倉台小学校（令和6年5月1日現在の児童数1,105名、通常学級数31、特別支援学級数7）
・平成28年度から令和4年度まで隣接する内野小学校と連携した通学区域制度の弾力的な運用を実施
・平成29年度に校舎の増築工事を実施し、8教室を増築（平成30年4月から供用開始）
・平成30年4月1日から通学区域の一部（印西市中央南二丁目2番地）を内野小学校区に変更
・令和6年度から隣接する木刈小学校と連携した通学区域制度の弾力的な運用を実施 ※制度利用者数（令和6年5月1日現在）：5名

② 中学校

西の原中学校（令和6年5月1日現在の生徒数715名、通常学級数20、特別支援学級数4）

- ・令和元年度に校舎の増築工事を実施し、8教室を増築（令和2年4月から供用開始）
- ・令和7年4月1日から通学区域の一部（印西市草深字天王前・蛭沼）を船穂中学校区に変更
- ・令和7年度から校舎の増築工事を開始し、20教室程度を増築予定（令和9年4月に供用開始予定）

（関連）西の原小学校 進学先が西の原中学校であることから、以下の対策のとおり対応をした。

- ・令和5年度から隣接する高花小学校と連携した通学区域制度の弾力的な運用を実施
※制度利用者数（令和6年5月1日現在）：4名
- ・令和7年4月1日から通学区域の一部（印西市草深字天王前・蛭沼）を高花小学校区に変更

木刈中学校（令和6年5月1日現在の生徒数817名、通常学級数23、特別支援学級数2）

- ・平成28年度から令和4年度まで隣接する原山中学校と連携した通学区域制度の弾力的な運用を実施
- ・令和2年度に校舎の増築工事を実施し、8教室を増築（令和3年4月から供用開始）

（2）小規模校（過小）

① 小学校

船穂小学校（令和6年5月1日現在の児童数50名、通常学級数5、特別支援学級数2）

- ・令和4年度に小規模特認校制度を試行導入（市内全域から学区外就学を柔軟に認めることとする）
- ・令和4年4月28日に「船穂小学校における小規模特認校制度の導入に係る説明会」を開催
※保護者18名出席
- ・令和5年度から小規模特認校制度を導入
※制度利用者数（令和6年5月1日現在）：22名

② 中学校

本埜中学校（令和6年5月1日現在の生徒数27名、通常学級数3、特別支援学級数2）

- ・令和4年度に小規模特認校制度を試行導入（市内全域から学区外就学を柔軟に認めることとする）
- ・令和4年4月27日に「本埜中学校における小規模特認校制度の導入に係る説明会」を開催
※保護者13名出席
- ・令和5年度から小規模特認校制度を導入
※制度利用者数（令和6年5月1日現在）：18名